aglobe

エイグローブ株式会社
事業案内

アンテナショッププロジェクト立ち上げの想い

アンテナショップ「Japanese Eats」は、企業の輸出・販路開拓経験豊富なエイグローブが、

「日本の食産業を守り、世界に広げるため」に立ち上げたプロジェクトです。

アンテナショップ「Japanese Eats」とは

「Japanese Eats」は、コロナ禍で苦しむ日本の食産業の皆様に新たな海外販路開拓の第一歩として、皆様自身のお店としてご利用頂くために作りました。

一般的に市場調査や海外出店の場合、莫大な費用プラス、ビザや通関手続きの煩雑さ、時間、お金など様々なリスクが伴って参ります。

今回、その様な面倒な部分(店舗準備からスタッフの雇用といったお店の運営)は弊社が担っております。そのため、食産業の皆様はモノを送るだけで、市場調査やマーケティングが可能です。

「イージーな海外販路開拓」をコンセプトに限りなく低リスクで海外販路開拓にチャレンジして頂ける場の提供を日々目指しております。

2021年3月ベトナムホーチミン高級モールVivocity内にてオープン

なぜベトナムなのか？①

1）高成長率：
20年間、外食市場年間２桁成長達成

2）成長率の継続性：
今後20～30年成長が見込まれる

3）日本の農産物・食品の輸出先：
第５位

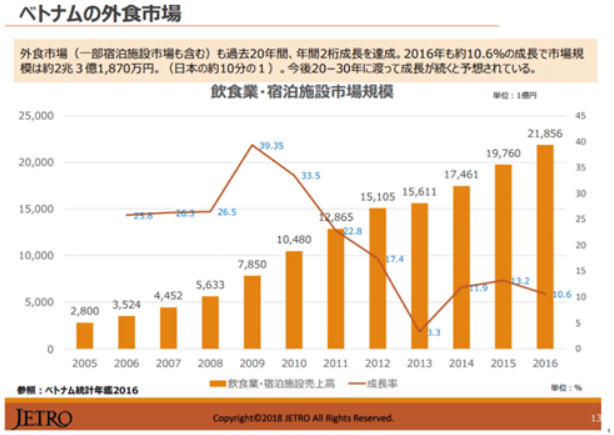
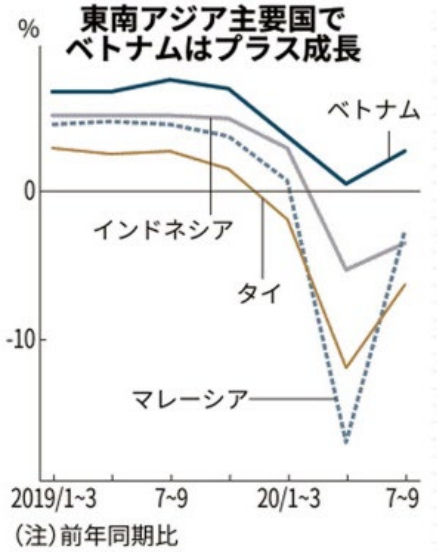


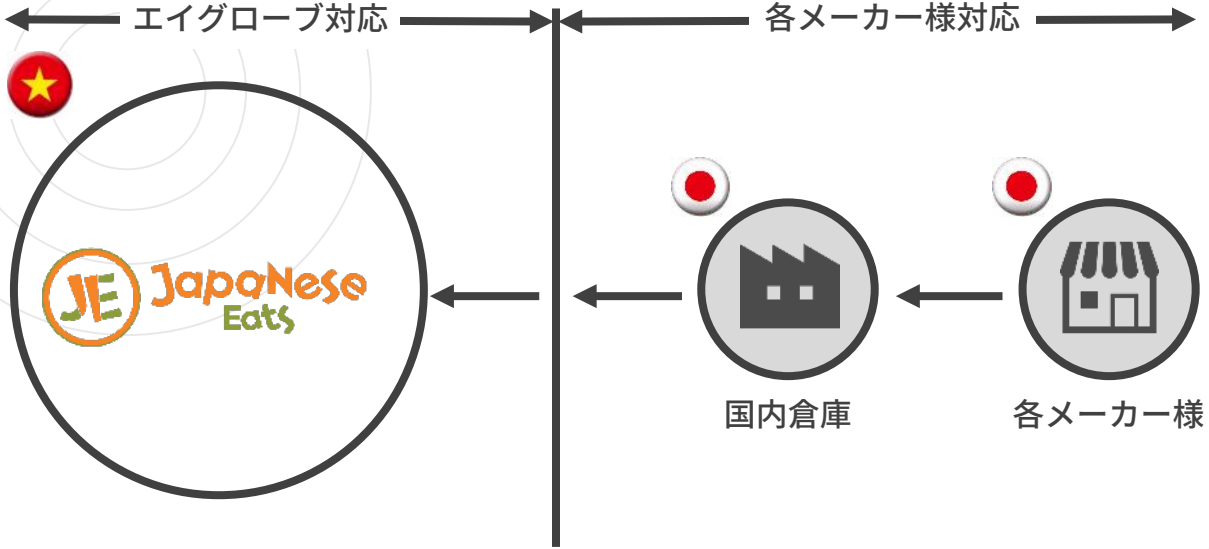
図　ベトナムの食品市場（日本食市場）　2018年７月　ＪＥＴＲＯ抜粋

なぜベトナムなのか？②

東南アジア主要国でもベトナムはプラス成長を続けており、抜きに出ている。

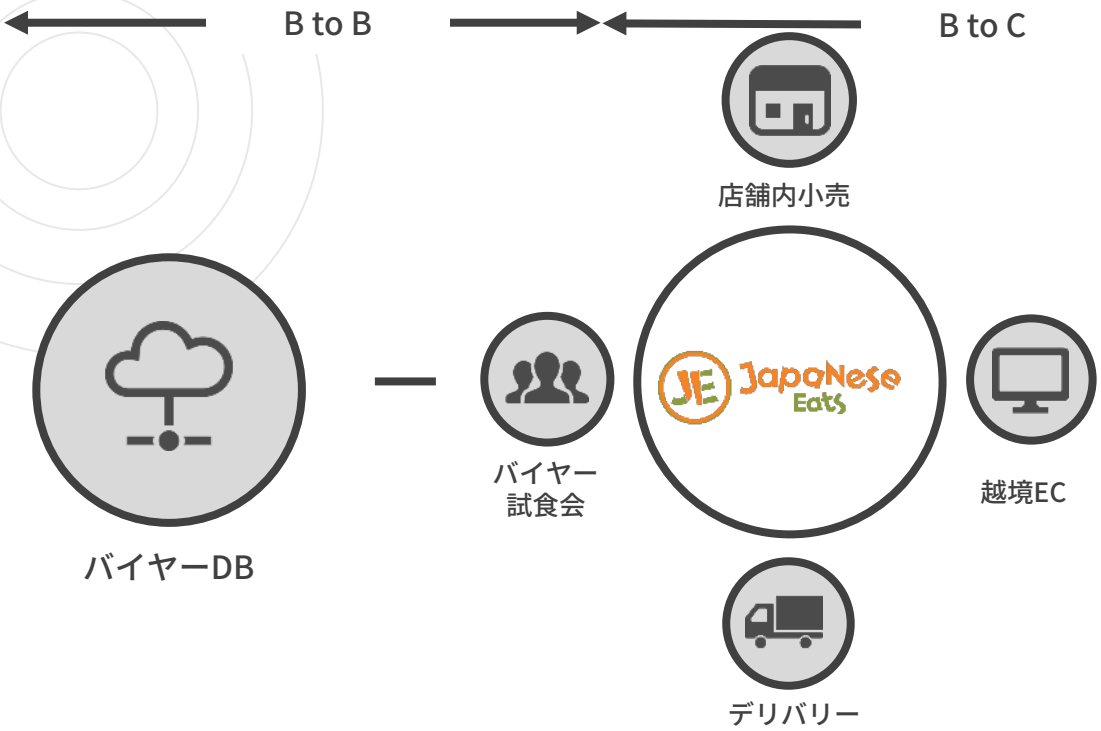


JEの何が特別か？



各メーカー様が国内取引と同じ要領で海外ショップ展開が可能になります。また、海外販路開拓支援のプロフェッショナルであるエイグローブがアンテナショップを直営することでBtoBを含むマルチチャネルでの販売販路開拓を可能にします。

マルチチャネル販売・展開



海外販路開拓支援のエイグローブがレストランを直営することで既存のバイヤーDBとバイヤーをバイヤー試食会等でつなげることが出来ます。

京都フェア実績（2021年3月）

メディア実績①

日刊工業新聞（2月23日）

エイグローブ、ベトナムにアンテナレストラン　中小の進出サポート

ツイート　シェア 0　LINEで送る

2021/2/23 05:00

ホーチミンに出店するアンテナレストランのイメージ

エイグローブ（浜松市中区、本多亮社長、０５３・５２３・８９０４）は、ベトナムのホーチミンで国内の中小企業が扱う食材の魅力を発信するアンテナレストランの運営に乗り出す。２月末に現地のショッピングセンター内に開設し、当初は約３０社が参加する。少ない費用負担で参加でき、海外進出を検討する中小企業向け支援事業として取り組む。

参加企業の負担は出品費と食材の輸送費のみ。出品期間は半年または１年間を選べる。物産展と違い、長期間の食材提供を通じて詳細な市場調査が可能。現地バイヤーとの試食会などを企画。ＢツーＢ（企業間）での販路拡大も見込める。

ホーチミンに出店するアンテナレストランは、延べ床面積約３２平方メートル。参加企業は食材を温めたり、焼いたりして簡単に調理できる加工品を提供する。当初は奈良漬などを使ったお茶漬け、抹茶プリンなどのメニューを予定。初年度約１００社の出品を目指す。

同社は中小企業を中心に海外販路拡大支援事業を行っており、その知見を生かす。アンテナレストランは年内に台湾、マレーシアでも出店を計画する。（浜松）

中日新聞（3月30日）

中日新聞

ベトナムにアンテナ店

浜松・エイグローブが開設

日本食 現地風レシピで提供

中小企業の製品出品を支援するエイグローブ（浜松市中区）が、日本の食品のアンテナショップを、ベトナムの最大都市ホーチミンに出店した。たしなみスイーツといった製品を並べて売るだけでなく、現地風にアレンジした料理として提供するのが特長。新型コロナウイルス感染拡大による売り上げ減少に苦しむ中、食べて、楽しんでもらおうと狙う。

同社によると、ベトナムは外食産業の成長が顕著で日本食の需要も拡大。コロナ禍の影響は小さく、現在は富士ＦＭしずまが入り、現在は富士が入国制限を緩和する一国民が一人当たりの所得が増加し、食品・飲料の輸入が増えている。

店名は「ジャパニーズ・イングモール内に三月に開店し、約二千平方メートルの売り場と飲食スペースを設けた。宅配も手掛ける。既存のフードコートには和菓子から調味料まで、県内を中心に日本各地の食品メーカー約二十社の製品を並べた。

飲食メニューは現地製品用のスタッフが作り、ベトナムでは人気のスイーツとして人気の抹茶プリンなどを提供する。

二十六日に現地の商社や飲食店の関係者向けに試食会を開いた。ベトナムでは「おいしい」と好評。カクテルに合うチーズ盛り合わせ、クリームチーズ盛り合わせ、ゼリーなどの代わり米粉で作ったスイーツ、ビールに合うスイーツなどを提供する。

実感した」と話す。年内に台湾やマレーシアにも出店する構想で、「人の移動はできなくても、ビジネスはあきらめない」と意欲を見せる。

つくるベトナムの麺（フォー）

ベトナム・ホーチミンで開店したエイグローブの小売り店舗（浜松市中区）

メディア実績②

朝日新聞（3月31日）

2021年（令和3年）
3月31日
水曜日

朝日新聞

■静鉄が春休みワンデーパス　静岡鉄道が「春休みワンデーパス」を販売する。新静岡―新清水が1日乗り放題で高校・中学生350円、小学生200円。期間は4月5日までで、当日のみ利用できる。「この時期、沿線の桜も お楽しみください」と同社。パス提示により関連3施設で割引などの特典がある。沿線各駅で販売している。

■エイグローブがベトナムにアンテナレストラン　中小企業の海外進出を支援しているエイグローブ（本社・浜松市中区）が13日、ベトナム・ホーチミンにアンテナレストランを開いた。日本の食品会社の輸出支援が狙い。ベトナムはコロナ禍の影響が少なく、外食産業は二ケタ成長が続いている。富裕層が住む地区のショッピングセンターに「ジャパニーズ・イーツ」という名前の店を設けた。緑茶やお茶漬け、抹茶プリンなどを提供し、漬物やお茶など日本の食材を店頭やネットで販売する計画。県内ではじめの日本の公社視察が食材を提供する。現地の郵会社と連携し、販路拡大を目指すという。

小勝おさき美会長は「中小企業のベトナム輸出の窓口になりたい。年内に台北とクアラルンプールで開店する予定」と話している。

日経MJ新聞（3月31日）

日経MJ 2021.03.31

aglobe

ベトナムにアンテナレストラン
「人の移動は最小限・モノの移動は最大限に」
食品メーカーを支援

日本企業の海外進出を変革し世界を変える

エイグローブは、輸出、海外販路開拓支援に特化した事業を行っている。「わくわくするものを国境なく世界へ届けたい。日本と世界のビジネスを私たちを通して簡単にして、距離を縮めたい」その想いが社名のエイグローブには込められている。

現地バイヤーと試食会も！BtoBで、販路を拡大。

そんな同社が、ベトナムのホーチミンで日本国内の中小企業が扱う食材の魅力を発信するアンテナレストランの運営に乗り出した。レストラン名は「JapaneseEats」。

ベトナムは新型コロナの影響も少なく国内消費が元気な国のひとつだ。ベトナムの外食産業は20年2桁成長を達成し、さらに20年は継続すると言われている。3月初旬に現地のショッピングセンター内に開設し、約30社が参加した。出品費用は2022年3月まで無料。サンプル提供と送料・通関手数料のみ（3万円／箱）で参加可能だ。3月26日には現地バイヤーとの試食会も開催。今後毎月定期開催する。日系レストラン800社に販売チャネルを持つディストリビューターや現地スーパーマーケット、レストランが参加。海外展示会や渡航ができないコロナ禍でも、参加食品メーカーの食材を試食してもらいBtoB販路に繋げる。

エイグローブ株式会社　本社所在地：〒432-8053 静岡県浜松市中区法枝町115-2F　代表電話番号：053-523-8904

アンテナショップを

2021年にアジアで３店舗
2030年までに世界10店舗

の展開を目指しています

出品費用

出品費用	商品	送料＋通関手数料
無料	サンプル提供	3万円 1箱当たり

※2021年3月～2022年3月
出品分は出品費用無料

条件

- 1箱最大10kgまで
- 1箱最大160サイズまで
- 国内倉庫から現地までの費用

※企業様から国内倉庫までの費用は別途企業様ご負担となります。ご了承下さい。

商品案内の方法

求めるもの：①アジアへの輸出第一歩を考えている生産者・メーカー
②食品加工品/農産物/海産物/生活用品
③常温6ヶ月以上(それ以外は応相談)(冷凍冷蔵応相談)

応募に必要な提出物：
・エントリーシート(メール受領後、雛形を送ります)

連絡先：　info@aglobe.net　　担当：瀬崎(セザキ)

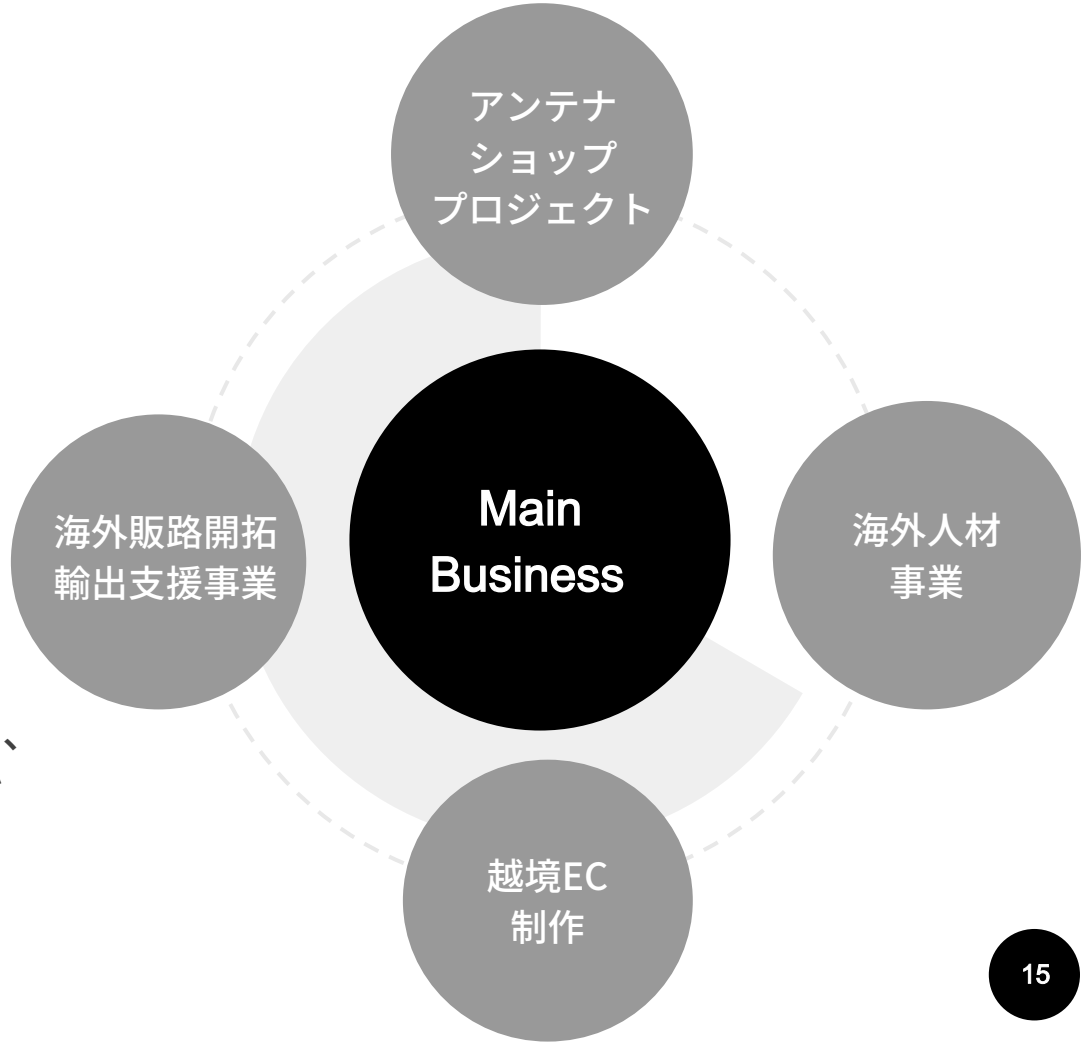
Company　info

「海外、イージ―です」

エイグローブのグローブ（globe）は地球のことです。エイグローブ(aglobe)とは「a globe = 地球はひとつ」という意味です。わくわくするものを国境なく世界へ届けたい。日本と世界のビジネスを私たちを通じて簡単にして、距離を縮めたい。その想いが、この社名に込められています。

拠点
本社所在地：静岡県浜松市
オフィス：種子島オフィス
子会社：Japanese Eats Vietnam (ホーチミン)

Our Business

エイグローブ株式会社は、アンテナショッププロジェクト、海外販路開拓・輸出支援事業、越境EC制作、海外人材事業を軸に事業を行っています。

企業の海外販路開拓・輸出支援事業を、より「かんたん」にするためにこれからも走り続けます。